

タイトル	みんなが村人だったら		
ワークの目的	<ul style="list-style-type: none"> ● 異なった価値観や考え方をを持った人と付き合う方法を考える。 ● 自分が安心できる距離感を保ちながら、多様な人と共生する練習をする。 		
背景	<ul style="list-style-type: none"> ● 生活の中で、価値観が合わない人と共に時間を過ごさなければいけない時は今でもありますし、これからの多様化する社会でますます増えていくことが予想されます。 ● 誰とでも仲良くなる必要はありませんが、適度な距離感を保ちながらもお互いを理解し、お互いが納得のいく共生方法を探る姿勢が大切です。 ● そのため、このワークでは異なる価値観・利害のある村人になりきり、お互いに何が出来るか嬉しいのかを考えて、違った立場の他者との付き合い方を学びます ● なお、ワーク全体は長く、児童に考える時間が必要な場合、必要に応じて分割・隔週で実施するなどして頂ければと思います。 		
対象学年	小学校中学年・高学年	所要時間	80分～100分
準備	ストーリー & ロールカード、ワークシート		
実施内容	支援の観点・留意点		
① 導入			
<u>ストーリーを読み上げ、設定・ミッションへの理解を進める</u>		<u>留意点</u>	
<ul style="list-style-type: none"> ● 「今日はロールプレイをします。村人になって、他の村の人と一緒に生活する方法を考えます」 ● ストーリーとロールカードを配り、先生がストーリーを読み上げます 		<ul style="list-style-type: none"> ● 子供たち全員にストーリーと地図が記載されているページ及び村の名前から始まるロールカードを配ります。 ● ストーリーについて質問がないか確認してください。 	
② ロールプレイ			
<u>ロールカードを読み、村が目指す幸せの暮らしを決める（20分）</u>		<u>留意点</u>	
<ul style="list-style-type: none"> ● 「まずは、村ごとに分かれて、その村の人が大切にしていること、他の村の人について思っていること、村が困っていること（ミッション）、そして村が提供できるものを読みます。分からないことがあったら聞いてくださいね」と言い、子供たち各自にロールカードを読んでもらう。 ● 各自ロールカードを読んだ後に、先生がロールカードの理解度を確認する。以下のような問いを使ってみましょう。 		<ul style="list-style-type: none"> ● 子供たちは「ミッション」に集中してしまうかもしれませんが、その他の村の特徴や他の村のイメージも理解できているか確認してください。 	

<ul style="list-style-type: none"> - 「〇〇村はどんな村？」 - 「得意なことはあるかな？」 - 「困っていることは？」 - 「〇〇村についてはどんなイメージを持っているの？」 ● 次に「じゃあ、次に村ごとにそれぞれが目指す幸せな暮らしを決めましょう」と声がけをします。 <ul style="list-style-type: none"> - 例えばカリスト村の場合「川があふれるのを怖がらないで、楽しく遊びたい！」のような内容が考えられます。 ● 目指す幸せな暮らしが思いつかない場合、以下のように聞いてみましょう。 <ul style="list-style-type: none"> - 「この村の人たちには何が大切なのかな？」 - 「この村の人たちは何がほしいのかな？」 - 「この村が困っていることは？」 	<ul style="list-style-type: none"> ● 村人が目指す幸せな暮らしを決めることは子供たちが村人の役になりきる手助けをし、ミッションを明らかにします。「自分はこの村の人なんだ」「この村の人たちにはこんな希望があるんだ」ということを体感するために作成します。
<p><u>村が目指す幸せの暮らしを発表（5分）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 村ごとを発表します。 	
<p><u>作戦会議（15分）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「さて、間もなく4つの村が集まって、皆で一緒に協力して生活していくためのパラル地域全体会議が始まります。その前に、自分の村が必要としていることをどうやって手に入れるか、村ごとに作戦を考えてください。」と言い、作戦会議を行ってもらいます。 ● 作戦会議は、パラル地域全体会議の準備です。ミッションを果たすためには①どの村と交渉をすればいいか、②自分たちがどの村に何を提供できるか考え、ロールカードの右下の枠に記入します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「どの村に頼めるかな？」と「どの村が必要かな？」の内容は推測になります。〇〇村に頼めるかな、代わりに〇〇村にこれをあげようかな等の仮説を立て、それに沿って全体会議の時に交渉を始めます。「推理」のようなものなので、間違っていたり、全て書けていなくても問題ありません。
<p><u>パラル地域全体会議（35分）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 全体会議の目的は、お互いのニーズを聞き、村同士が共生する方法を見つけることです。ただ、価値観が異なる上に、村同士のイメージが悪い状況から話し合いがスタートします。 ● 「はいはいパラル地域全体会議の時間です。みんな、他の村の人があまり好きではないので、本当は会いたくありません。昔みたいに、すぐ喧嘩になるかもしれないですからね。それでも、お互いが必要としていることに耳を傾けて、協力をしないと、全員の暮らしがどんどん厳しくなっていきます。」 	

<ul style="list-style-type: none"> ● 「では、4つの村の村人全員で集まって、共生する方法を考えましょう！」 ● 「まず最初に村ごとに書記を決めてください。書記はワークシート(図1)に沿って、メモをとってください。メモは他の人にも見せてくださいね。」と言い、各村に書記を決めさせます。 ● クラスの必要に応じて、先生が事前にワークシートの項目を子供たちに説明します。その後、子供たちがワークシートに沿って話し合いを始めるよう促します。 <p>● 会議の進め方の例</p> <ol style="list-style-type: none"> ① それぞれの村が必要としていることを聞きます。 ② 課題解決のために協力できそうな村を探します。 ③ 協力できそうな村が「協力したくない理由」を聞きます。この項目は今まで協力してこなかった理由を振り返り、元々他の村に対して思い込みがあることを忘れないためです。例えばカリスト村がパラ村に水を提供したくないと思っている理由は、「木を高く売りつけてくる」や「今まで勝手に水を取りに来ていたから」などがあるかもしれません。仲が良い状態で協力するのは簡単です。ここでは、思い込みを乗り越えて、お互いを理解した上で、共生する方法を見つける訓練をします。 ④ 協力できそうな村が「協力するための条件」を聞きます。例えばパラ村の場合、「クリオ村がカリスト村からの水道を作ってくれたら、クリオ村には肉、カリスト村には木を安く売る」などの条件が提示できます。 ⑤ まとめとして「どうやって一緒に暮らしていく？」を書きます。 <ul style="list-style-type: none"> ● パラル地域全体会議が終わったら、解決策を発表します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● できるだけ子供たちが自主的に議論するよう促しましょう。ただ、クラスの状況に合わせて、先生が事前に話し合いの順番を説明することも可能です。また、話し合いが進まない場合、「この村が困っていることはどうやって解決できると思う？」「協力してくれる村はあるかな？」「なんで今まで協力してこなかったのかな？何か嫌なことされたりした？」「相手が何をしてくれたら協力しようと思える？」などと声がけをしてみてください。 ● ロールカードに記載しているネガティブなイメージを忘れて、仲良く振る舞ってしまうと、課題が簡単に解決をしてしまい、異なった価値観や考え方をを持った人と付き合う方法の訓練にならない可能性があります。適宜ロールカードを再確認してもらってください
<h3>③ 振り返り</h3>	
<p>共同会議の振り返り⇒日常生活に結び付けて考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「自分の村のミッションを果たすのは難しかったですか。」 ● 「他の村が必要としていることをしっかり聞くことはできましたか。」 ● 「全員で解決策を考えるのは大変でしたか。楽しかったですか。どうしてですか。」 	<p>留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ● あくまでも問いの例ですので、クラスの特徴に合わせてカスタマイズしてください。

- 「学校や家族でこういう話し合いをしたことがありますか。何が似ていましたか。何が違いましたか。」
- 「色々な考え方を持っている人が話し合いをする時に、何が大事だと思いますか。」
- 「色々な考え方が持った人が一緒に生活していくには、何が大事だと思いますか。」

まとめ

- 「考え方や大切なことが違う人たちは周りにたくさんいますよね。もちろん全員が仲良くできればいいけど、喧嘩をするとか、どうしても価値観が合わないことってあるよね。それでも一緒の場所や時間を共有する必要がある時は、お互いが大事だと思っていることや感じていることをしっかり伝え合うことができれば、みんながもっと気持ちよく生活できるかもしれないね。この人とは意見が合わないなー、と思った時に今日のことを思い出してみてね」

ワークシート(図 1)

★ちいせぜんたいかいぎパラレル地域全体会議★

たが ひつようお互いが必要としていることを聞いて、き きょうりよく協力しながら一緒に暮らす方法をいっしょ く ほうほう かんが考えてください。

	<small>ひつよう</small> 必要なこと	<small>きょうりよく</small> 協力できる村	<small>が</small> <small>きょうりよく</small> 協力したくない理由 (今までどんなイメージだった？ あいてのいやなところは？)	<small>きょうりよく</small> 協力するための条件 (〇〇してくれたら、かわりに 〇〇するよ/あげるよ！)
<small>むら</small> カリスト村				
<small>むら</small> パラ村				
<small>むら</small> クリオ村				
<small>むら</small> ボム村				

いっしょ くどうやって一緒に暮らしていく？